

キャラクター名
 結織 玄 (ゆいしき はじめ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール エグザイル	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプション		年齢	不明(外見年齢17)	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	闘争	初期侵食率	35%
出自	兄弟	経験	心の壁	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	50
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	3			6	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
虚星の盾	射撃	2r		-		グラビティガード+崩れずの群れ
ウアスの杖	RC	6r+4		-		コンタクト+死神の瞳+魔王の腕

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
要人への貸し	
情報収集チーム	
手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
古代種	P	N		
兄(銀の聖杯)	P 執着	N 脅威		
アルフレッド・J・コードウエル	P 同情	N 恐怖		
	P 好奇心	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンダクト	★	10	仁子アブ	至近	単体	自動	DP	イス
効果: 未行動の対象のレネゲイドを活性化し行動させる。組み合わせ不可。1シナリオに一度まで								
コンタクト:バロール	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
時の棺	★	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定直前使用時、自動失敗 1回/1シナリオ								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード時宣言 ガード値+ [Lv] D								
崩れずの群れ	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロール直前宣言 味方を庇う 1回/1メインウインド								
異形の刻印	4	3	オート	-	単体	自動	-	
効果:								
死神の瞳	2	3	Xジャー	視界	単体	対決	ダメージ0	
効果: 射撃攻撃 次を受ける攻撃に+ [Lv+1]								
因果歪曲	2	2	Xジャー	-	-	対決		
効果: 範囲化 同エンゲージ不可								
ディメンジョンゲード	★	3	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 知ってるところならどこでもドア。戦闘緊迫×								
魔王の玉座	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 永久レビテト。弓特攻無効								
物質変化	★	-	Xジャ	至近	自身	自動	-	
効果: 物品や植物などに变化するエフェクト 知覚対決								
鍵いらすの歩み	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: ドアの隙間などを通り抜けるエフェクト								
擬態の仮面	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 自らの顔や姿を変化させる。知覚対決 戻るにはオート								

「君の話を聞かせて。君はどんな物語を歩んできた？」
 「僕は化け物ではあるけど何か強い力を持つわけではないんだ。少し、体が丈夫なくらいかな」

穏やかでありながら人懐っこく、人に尽くすことを喜びとし人の物語をせがむ少年のようなチルドレン。
 現在はN市支部に身を置き、時折そのバーで働く姿が見られている。唐澤、大貫、桐生を友人として親しみ、消えた音宮を先輩と呼び、エヴァシオンを父のように慕っている。

ずきなものとは他人との食事、散歩、出会ってきた人の物語、父の様なあの、甘いもの他多数
 嫌いなものは願望器、人を傷つける事
 苦手なものはRB(二ーラム)、胸の痛み

#####

これはよくあるお伽話
 何の変哲もない、善良な青年がいた。――ただ、姿が変わらず不死なだけの青年だった。
 それでも人は青年を化け物と呼んだ。場所を変えても、姿を変えても、その身で庇うだけでも人は嫌いだ。
 友となった人間がいても百も満たずに消えてしまう。味方だと言った人間は大抵が裏切った。
 ならば呼ばれた通りに、望んだとおりに。何度も討たれ損ねた青年はいつしか本物の化け物となり、呼び名に相応しい殺戮を繰り返した。

そして最後は、英雄に討たれて死んだという。
 #####